# 令和７年度

# 事　業　報　告　書

## 社会福祉法人やまなみ会

## 阿蘇総合支援センター

・らいふパートナー（一般・特定・児童相談支援）

・らいふサポート（生計困難者レスキュー）

・へきすい元気っ子クラブ（放課後児童健全育成）

・児童発達支援センターきらり

（阿蘇郡市中核的機能・障がい児通所支援：未就学児）

・のびのびハウス（障がい児通所支援：就学児）

・児童家庭支援センターふわり（児童家庭支援）

・地域福祉活動（地域食堂）

# 目　　次

Ⅰ　はじめに　・・・・・３ページ

Ⅱ　全体状況報告　・・・・・３

Ⅲ　個別事業報告　・・・・・４

１　らいふパートナー　・・・・・４

２　らいふサポート　・・・・・６

３　へきすい元気っ子クラブ　・・・・・６

４　児童発達支援センターきらり　・・・・・７

６　のびのびハウス　・・・・・８

７　児童家庭支援センターふわり　・・・・・１０

８　地域食堂　・・・・・１１

## Ⅰ　はじめに

阿蘇総合支援センターでは、特定・児童相談支援事業や障害児通所支援事業など障害者及び支援が必要な児童とその保護者への支援を行う事業、一般の児童をお預かりする放課後児童クラブの他に、阿蘇・菊池児童家庭支援センター、阿蘇圏域児童発達支援センター、生計困難者レスキュー事業など、地域を支える様々な事業を展開し１年を通して地域貢献に努めた。

## Ⅱ　全体状況報告

### １　実施事業一覧　　（内容については個別実施報告に記載）

| 事業内容等 | | | スタッフ |
|---|---|---|---|
| らいふパートナー | 相談支援事業 | 一般相談支援事業 | 相談支援専門員・地域移行推進員 |
| | | 特定相談支援事業 | 相談支援専門員・地域移行推進員 |
| | | 児童相談支援事業 | 相談支援専門員 |
| らいふサポート | 生計困難者レスキュー事業 | | 相談支援専門員 |
| 児童発達支援センターきらり | 児童発達支援センター等機能強化事業<br>巡回支援専門員整備事業 | | 療育相談員<br>巡回支援専門員 |
| | 児童発達支援事業<br>保育所等訪問支援 | | 児童発達支援管理責任者<br>保育士・児童指導員 |
| のびのびハウス | 放課後等デイサービス事業<br>保育所等訪問支援 | | 児童発達支援管理責任者<br>保育士・児童指導員・指導員 |
| へきすい元気っ子クラブ | 放課後児童健全育成事業 | | 支援員・指導員 |
| 児童家庭支援センターふわり | 阿蘇・菊池児童家庭支援センター事業 | | ケースワーカー<br>心理士 |
| 地域福祉活動 | 地域食堂「あそっこ食堂」 | | 担当者 |

### ２　主な会議・研修会参加状況

| 月 | 会議　・　研修 |
|---|---|
| 4 | ・熊本県相談支援事業連絡協議会県北ブロック研修会<br>・熊本県児童家庭支援センター総会 |
| 5 | ・熊本県相談支援事業連絡協議会県北ブロック総会<br>・熊本県学童保育研修会<br>・九州児童家庭支援センター総会 |
| 6 | ・熊本県障害者相談支援事業連絡協議会県役員会<br>・阿蘇郡市特別支援連携協議会総会 |
| 7 | ・児童発達支援センター会議<br>・市町村児童家庭支援センター連携会議 |
| 8 | ・保健師研修会 |
| 9 | ・全国こども家庭養育支援地域ネットワークセミナー熊本大会・ |

| | |
|---|---|
| 10 | ・児童発達支援センター研修　　・発達障がい地域支援体制サポート講座 |
| 11 | ・くまもと子どものこころ研修会 |
| 12 | ・児童発達支援センター会議 |
| 1 | ・九州児童家庭支援センター協議会研修会<br>・相談支援従事者専門コース別研修 |
| 2 | ・全国児童家庭支援センター協議会研修会 |
| 3 | ・阿蘇圏域地域療育ネットワーク会議 |

### 3　施設内会議

以下の会議について、毎月開催

【センター幹部会議】・・・主任以上

＊　管理者会議の報告、行事・研修会等の企画、課題の検討等

【センター会議】・・・全職員

＊ 管理者会議・センター幹部会議の報告、当月行事予定等の確認、研修報告等

【指定相談支援会議】・・・相談支援専門員

＊ 毎月の新規プラン、更新プラン、モニタリングケースの件数確認

＊ 受け持ちケースの業務進捗状況の確認、困難ケースの検討、事業所内研修等

【のびのびハウス会議】・・・のびのびハウススタッフ

＊ 月案・週案・日案等の検討、学習会の開催、個別支援計画検討会等

【児童発達支援センターきらり会議】・・・きらりスタッフ

＊ 月案・週案・日案等の検討、個別支援計画検討会、地域支援会議、事業所内研修

【へきすい元気っ子クラブ会議】・・・学童保育スタッフ

＊　前月の活動報告、当面の予定・課題等の検討、研修報告等

【児童家庭支援センターふわり】・・・ふわりスタッフ

＊　個別ケース会議（受理会議、支援方針会議)、学習会の開催等

## Ⅲ　個別事業報告について

### 1．らいふパートナー

#### （1）一般相談支援事業

**①阿蘇市・産山村相談支援事業（阿蘇市・産山村より委託）**

**＜事業の取組＞**

・障がいを持ちながら地域で安心して暮らせるように、地域移行推進員が定期的に自宅や職場を訪問または連絡をし、身近に相談できる体制の充実に取り組んだ。

・令和７年度実績

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 年間 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 対象人数 | 24 | 20 | 22 | 20 | 16 | 22 | 20 | 20 | 24 | 24 | 26 | 22 | 260 |
| 支援回数 | 54 | 59 | 52 | 56 | 36 | 64 | 58 | 50 | 56 | 55 | 53 | 42 | 635 |

＜課題・次年度への提起＞

・ご自宅や職場を訪問するなどして、QOL（生活の質）の向上を見据えた取り組みを行っているが、ご本人のサービス利用に対するご家族の抵抗感など課題も多い。

・行政や特定相談支援事業所等と連携を取り、ご利用者の満足につながる支援を粘り強く継続して行っていきたい。

②住宅入居者等支援事業（地域生活支援事業～阿蘇市より委託）

＜事業の取組＞

・令和７度実績は０件

・阿蘇圏域においては、障がいのある方が自宅以外で生活を送る際の地域資源の少なさから、グループホームや入所施設の利用等になりがちな傾向となっている。一方で、家族と同居し、地域の支援を受けながら生活されている方も多い。

＜課題・次年度への提起＞

住み慣れた地域で生活を続けられるために、住宅の確保への支援は大変重要な事業であり、今後も積極的に取り組んでいきたい。

③地域移行・地域定着支援事業

＜事業の取組＞

・令和７年度実績は０件

・障がいのある方が、住み慣れた地域を拠点とし、本人の意向に即して、本人が安心・充実した地域生活を送ることが出来るよう、地域定着支援への取り組みを進めている。

＜課題・次年度への提起＞

緊急時に対応できるためには、当然ながら夜間の体制を整える必要があるが、一法人のみでは財政的負担が大きく対応できない状況が圏域の共通課題となっている。現状としては行政委託の相談支援事業や特定相談支援事業でサポートしながら地域定着に向けて支援している。今後も地域生活が継続されるための支援をしていく。

（２）特定相談支援事業・障がい児相談支援事業

＜事業の取組＞

・ご利用者やご家族の意向を十分理解し、詳細なアセスメントやモニタリングに重点を置きサービス利用計画の作成に努めた。

・サービス担当者会議を開催し、ご家族やサービス提供機関と情報を共有すると共に、ご本人の頑張りを評価することにより、ご利用者が自己肯定感や将来への希望・意欲が持てるような支援を目指してきた。

・福祉サービスの外にもインフォーマルな社会資源の利用及び発掘に向け取り組んだ。

・令和７度実績　　＊計画＝サービス等利用計画

| | 特定 | 児童 | 計 |
|---|---|---|---|
| 契　約　件　数(R8 年 3 月時点) | 147 | 216 | 363 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 計画作成件数（延べ件数） | 105 | 195 | 300 |
| モニタリング数（延べ件数） | 180 | 244 | 424 |

**＜課題・次年度への提起＞**

・障がい者施設等において対象者が高齢化している中、日中活動をサポートすると共に利用者の意向を尊重し、安心・安全に暮らせるためのサービス調整を行っていく。

| | 月／種別 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 計画数 | 特定相談 | 19 | 14 | 3 | 5 | 9 | 4 | 26 | 5 | 3 | 3 | 5 | 9 | **105** |
| | 児童相談 | 14 | 16 | 17 | 16 | 20 | 16 | 12 | 19 | 18 | 22 | 11 | 14 | **195** |
| | 計 | **33** | **30** | **20** | **21** | **29** | **20** | **38** | **24** | **21** | **25** | **16** | **23** | **300** |
| モニタリング数 | 月／種別 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
| | 特定相談 | 10 | 10 | 8 | 14 | 11 | 32 | 18 | 8 | 12 | 13 | 5 | 39 | **180** |
| | 児童相談 | 22 | 22 | 23 | 22 | 18 | 17 | 19 | 23 | 23 | 21 | 19 | 15 | **244** |
| | 計 | **32** | **32** | **31** | **36** | **29** | **49** | **37** | **31** | **35** | **34** | **24** | **54** | **424** |
| 総計 | | **65** | **62** | **51** | **57** | **58** | **69** | **75** | **55** | **56** | **59** | **40** | **77** | **724** |

・困難事例ケースなどに対応していくため、行政や他事業所とのネットワークづくり及び地域資源の発掘等、積極的に関わっていく。

## 2．らいふサポート（生計困難者レスキュー事業）

**＜事業の取組＞**

・生計困難者に対する制度の狭間の諸問題に市町村や社協等と連携し地域のセーフティーネットとしての役割を担った。令和7年度は15件のケースに取組んだ。就労までの生活支援、権利擁護利用、家計相談までの経済的支援を実施した。

・令和6年度実績（15ケースの相談）の内訳

| 項目 | 区分（人数） |
|---|---|
| 年齢別 | 30歳代(2)　40歳代(1)　50歳代(7)　60歳代(2)　70歳代(3) |
| 性別 | 男性（11）　女性(11) |
| 世帯別 | 独居世帯(8)　親子家族世帯(4)　夫婦世帯(2)　兄弟世帯(1) |

**＜課題・次年度への提起＞**

・就労支援事業所や市町村（生活困窮者自立支援制度）との連携など、今後とも当事者の自立した生活に向け力を尽くしていきたい。

## 3．へきすい元気っ子クラブ（放課後児童健全育成事業）

**＜事業の取組＞**

・阿蘇市、学校、放課後子ども教室担当者、保護者、放課後デイサービス事業者とより密に連携を深める取組みを行った。

・感染症予防の為、手洗い、消毒、検温を徹底して行った。また、体調管理をし水分や塩分補給を適時行った。

・令和7年度実績

開所日：287日　　児童数：73名（通年：42名、長期休のみ31名）

利用児童延べ人数：6,581人

指導員：21名（うち保育士1名）

・令和7年度実施行事等

| 月 | 行事等内容 | 月 | 行事等内容 |
|---|---|---|---|
| 4 | 入所式、支援員会議、春休みレク<br>阿蘇市長訪問、支援者研修 | 10 | 支援員会議、阿蘇市担当者会議、レクレ―ション |
| 5 | 支援員会議、支援者研修 | 11 | 支援員会議、地震避難訓練、支援者研修<br>令和８年度新入生保護者向け説明会 |
| 6 | 支援員会議、阿蘇市担当者会議 | 12 | 支援員会議、冬休みレク、大掃除 |
| 7 | 支援員会議、夏休みレク、火災訓練 | 1 | 支援員会議 |
| 8 | 支援員会議、夏休みレク | 2 | 支援員会議、レク、R8 年度利用保護者向け説明会 |
| 9 | 支援員会議、支援者研修 | 3 | 支援員会議、阿蘇市担当者会議、支援者研修、退会式、春休みレク |

**＜課題・次年度への提起＞**

・安定した運営を実施するために、職場環境の整備、有資格者の雇用、支援員研修受講を積極的に行い指導員のスキル向上を図っていく。

## ４．　児童発達支援センターきらり

●児童発達支援センター機能強化事業

**＜事業の取り組み＞**

①　相談対応件数（実件数）

| 対象者 | 本人・家族 | 事業所等 | 保育園等 | 学校等 | 行政等 | その他 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 対応件数 | ６７件 | ３件 | ２件 | １０件 | １１件 | ２件 | ９５件 |

２研修会・検討会の開催回数

| 対象者 | 本人・家族 | 事業所等 | 保育園等 | 学校等 | 行政等 | その他 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 対応件数 | ７件 | ２件 | ２件 | ０件 | ８件 | ０件 | １９件 |

主な研修等

行政、福祉、教育保育関係職員向け）

「発達障がいの理解とペアトレ体験」「療育とは」「障害児通所支援事業所紹介会」

「医療的ケア児の在宅支援を考える」「児童発達支援センターきらり事例検討発表会」

保護者向け）

「ペアレントトレーニング」「親さんカフェ lulu」「ペアレントメンター体験談」

＜課題・次年度への提起＞

・圏域の関係機関全体で地域療育ネットワークの構築に向け、更に教育・医療・介護分野と関係つくりを目指す。

・研修会や説明会の開催を通して、関係機関への療育の理解や圏域の資源の周知を目指す。

●巡回支援専門員整備事業（市町村事業）

＜事業の取り組み＞

巡回実施総件数：１５７回

巡回訪問先：阿蘇郡市の保育園、幼稚園　　放課後児童クラブ　　子育て支援センター

・各施設に事業を活用する上での目的目標を掲げ、事業の評価に繋げた。

・市町村行政内での情報や課題に共有の場の構築に臨む事に関わった。

＜課題・次年度への提起＞

・施設職員の個人差が園の支援に大きく影響している課題について、園内ケース検討の体制つくりについて取り組んでいきたい。

・

●児童発達支援

＜事業の取り組み＞

①グループ療育

・個別支援計画の目標に沿った療育プログラムを、小グループで設定されたグループ療育及び保護者同伴による家族療育に取り組んだ。

・感覚統合では、遊具を用いて手足の筋力を促す遊びの支援や適切な身体の動かし方等、筋力を促す遊びの支援を行った。

・今年度、７名の年長児において就学前の準備に向けた１年生になる為の支援や、法人内の放課後デイサービスの見学と交流を兼ねた体験型の療育に参加して頂きスムーズに移行できるよう支援を行った。

②個別療育

・グループ療育で関わりが不足する内容を児に合わせた療育プログラムを、専門スタッフが児にマンツーマンで支援を行った。

③施設内研修

・今年度施設内研修では「身辺自立について」について学んだ。又、心理士の

・阿蘇温泉病院のＰＴ・ＯＴによる研修では、１回目「足の大切さ」（偏平足の視点から）2回目は「身体図式と運動企画の発達支援について」について学んだ。

・中核的機能を持った児童発達支援センターが行っている児童発達事業を行政・その他の関係機関に広く知っていただくことを目的に「事例検討発表会」をシリーズ化し今回は「阿蘇つよし君（仮名）、感覚統合の目線から」と言う研修の中で児童発達支援センターきらりの取り組みや、個別支援計画について、実際の遊具や机上課題の道具の展示等も含め紹介を行った。

行政４名、事業所等５名、保育園等４名の参加があった。

④防災・防犯訓練

・総合訓練を１回、避難訓練を７回、震災訓練を３回実施した。

※令和８年１月より防災・防犯訓練を２カ月に１回と変更した。

⑤令和７年度利用状況（延べ人数）

〔児童発達支援〕

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 人数 | 75 | 88 | 88 | 99 | 89 | 100 | 105 | 111 | 77 | 127 | 120 | 86 | 1,165 |

●保育所等訪問支援

**＜事業の取り組み＞**

・今年度はコロナの影響も５類に移行され緩和はされ９回の訪問が実施できた。

・保育園・幼稚園への送迎時、園・事業所での児の様子や関わり方について、情報を共有し助言や適切な支援の充実、連携に努めた。

〔保育所等訪問支援〕

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 人数 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | 0 | 0 | 9 |

○阿蘇圏域障害児通所支援事業所連絡会

今年度は集合体による会議の開催ではなく、質の向上や横の連携を目的とし事業所紹介会や研修会の開催を実施したのだが、1月に集合体系で実施し、代表者会議の報告、地域支援として教育との連携の取り組みの報告を行った。また、今年度の振り返りとして行政同行の定期訪問、事業所紹介会、研修会について振り返り、次年度の要望等の収集を行った。

○阿蘇圏域障害児通所支援事業所訪問

６月に全事業所を訪問し各事業所の療育の取り組みや課題などについて共有した。

**＜課題・次年度への提起＞**

○児童発達支援

・新規事業所の見学実習受け入れを継続し、きらりで行う研修会への参加について内容の検討を行い、阿蘇圏域の通所支援事業所の技術向上を図る。

・阿蘇圏域の通所支援事業者の課題を把握し、具体的で実践的な取組を明確にする。

○保育所等訪問支援

今年度は、訪問回数は９回と前年度より訪問回数が増えた。継続していきたい。

○阿蘇圏域障害児通所支援事業所連絡会

西原村に事業所が 2 件増えたこともあり事業所紹介会の開催を継続し、集合体の会議も実施し横の繋がりに努めたい。

## ５．のびのびハウス

**＜事業の取り組み＞**

○支援内容の共有化

ミーティングと振り返りを繰り返し行うことで、支援内容のスタッフ間での共有を強化していった。今後も PDCA サイクルを念頭に置きながら、さらに見解を一致させた支援を図っていきたい。

○支援スタッフのスキル向上への取り組み

月に一度、作業療法士・理学療法士に訪問していただき、専門家の助言を基に支援の質の向上に努めた。また、事例検討を通した身辺自立についての研修に参加し、支援方法を学び合う機会を設けた。

○小学校高学年以上の利用児への支援

利用人数の大半が小学校低学年のため、一人ひとり個別のミッションを設定しスモールステップな支援を行い、一方、年齢の高い利用児の満足度に対しては自主性や自己決定に向けての支援を強化している。

令和７年度利用状況（延べ人数）

●放課後等デイサービス

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 人数 | 324 | 309 | 336 | 335 | 264 | 320 | 334 | 285 | 280 | 294 | 273 | 303 | **3,657** |

●保育所等訪問支援

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 人数 | 0 | 0 | 3 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 4 | **10** |

① 情報発信

・SNS（LINE@）では、保護者から家庭や学校の様子の情報提供や、悩みのご相談が入り、リアルタイムで情報の共有や助言ができ、保護者の安心につながっている。

**＜課題・次年度への提起＞**

（１） 課題・次年度への提起

・支援内容が日々単発的で、つながりが十分でない事がまだ見られるため、今後は大きな目標を細分化してスモールステップが組み立てられることをしっかり意識してミッション設定などに取り組んでいきたい。

・小学高学年以上の利用児は、家庭や学校生活で周りからより高い要求を受けている現状がある為、個々の評価を細かくアセスメントし、日々の生活の中で「出来るようになった」と思えるような支援作りを行いたい。

## ６．児童家庭支援センター　ふわり

**＜事業の取り組み＞**

① 地域・家庭からの相談に応じる事業

| 項目 | 電話相談 | 来所相談 | 訪問相談 | 心理療法 | メール相談 | 手紙相談 | その他相談 | 相談延件数 | 相談実人数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 件数 | 575 | 144 | 527 | 323 | 218 | 0 | 0 | 1,787 | 231 |

【地域別相談延べ件数】　（　　）内は実人数

・阿蘇市　627 件（45 人）　・南小国町　9 件（2 人）　・小国町 2 件（2 人）
・産山村 43 件（5 人）　・高森町 20 件（3 人）　・西原村　13 件（3 人）
・南阿蘇村 309 件(12 人)　・菊池市　178 件（12 人）　・合志市　522 件（138 人）
・大津町 47 件（2 人）　・菊陽町　12 件（2 人）　・その他　5 件（5 人）

② 児童相談所からの委託指導

624 件（実人数　9 人）

③ 市町村の求めに応じる事業

要保護児童対策協議会進行会議　12 件（合志市）

合志市地域の見守りサポーター養成講座フォローアップ研修講師　1 件（合志市）

④ 関係機関との連携・連絡調整（589 件）

研修会助言　6 件（福祉関連、虐待、発達に関すること等）

その他　1 件（全国家庭養育地域ネットワークセミナー熊本大会事例発表）

**＜課題・次年度への提起＞**

・関係機関と連携し、個別ケースに応じた地域ネットワークづくりを行う。

・事例検討会、外部研修、施設内研修等を行い、職員のスキルアップを行う。

**７．地域食堂**

**＜事業の取り組み＞**

令和６年度は、計４回実施し、毎回１０名程度親子での参加があった。お菓子作り体験、親子遊び、地域の仲間づくりなど、交流型「地域食堂」を実施した。

**＜課題・次年度への提起＞**

令和７年度も年４回程度実施して行きたい。